

街のシルエツト

山口芳光



——吾等の琉球人に贈る

遠い時と歴史が忘れて行つた一廓！

こゝは無人島か骸骨島でもあるか

午顔の咲き乱れた白日と謂ふのに

古い石垣通りには蝙蝠の魂が飛び交ひ

奥入おくいりやーじよー衡門には不思議な青蚊帳が吊られて

昼の悪童の悲しき性交もあると謂ふ

印陀羅の幻図そつくりの

揺曳する妖しい影絵の国だ

ああ 何にかしら祈らねばゐられぬ福樹の

森厳な黙示図絵には

何んと謂ふ赤顔童子の祈雨いのちの火遊びが点じられてあるか

ほら 街衢の上の噴火の干潟を

糸遊の様に痩せさらばひて

魂ばかりのひよろ長い姿が

何にか喰ひたい願ひで

駝鳥の様に駈つてゐるではないか

それでも街は昔ながらの午睡の時刻なので

この圏環は今

微風と亡霊の遊歩場なのだ

古い世紀の母よ

古い世紀の父よ

そおして

古い世紀の王様よ

あなた達の儉安の牕マドを開け放つてはいけない

あなた達の創生期よりの夢に

こつそり忍び込み

あなた達を脅かす

宿命の赤顔童子は

ほんとうに饑じいんだ

この白日はほんとうに饑じいんだ

古い世紀の母よ

古い世紀の父よ

そおして

古い世紀の王様よ

遠い世界の七月のミンヌクーも

幻の五月の後世ぐそうはあーりー爬龍も

青い酒火がチラ／＼誘魂するうんちやび彼岸も

ムシヨウガリした幻の童子コトモの

妖しい喰気には

あなた達の世紀の魔術も又獺が食ふ悪夢に過ぎないんだ

ああ 饑しい

古い街は饑じがつてゐる

白日は饑じがつてゐる

後註

- 一 「——吾等の琉球人に贈る」は1段階小さな文字

街のシルエット

底本：「沖縄文学全集 第1巻 詩※ [#ローマ数字1、1-13-21]」国書
刊行会

1991（平成3）年6月6日第1刷

入力：坂本真一

校正：フクポー

2018年2月25日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫
(<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制
作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。